

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2024. 10. 24

No. 720

2024年年末手当交渉 趣旨説明

10月24日に行いました。以下、報告します。

「組合」

9月10日、輪軸組立作業時に不正行為を行っていたことが判明し、会社全体で信頼回復に向け取り組んでいるが、失った信頼を取り戻すには相当の覚悟が必要であり、この難局を労使が一体となって打破していかなければならない。また、国からの指定公共機関の責務として、炎天下や輸送障害が起きている中においても、日々、安全安定輸送に努めていることを認識していただきたい。

大幅な物価上昇により、組合員の家計は相当厳しいものとなっている。2024春闘・2024年夏季手当においては低額回答に終わり、物価上昇の他にも、子供にかかる学費等や光熱費等も含め、全てにおいて値上がりし、また、期末手当は嗜好品費ではなく生活費の一部となっており、さらに、年越し・正月等で出費が重なり負担は増すばかりである。

労働条件改善が見えなければ、将来に対しての不安や不信が増し「このままJR貨物に働いて大丈夫なのか？」と離職が加速していく。他の企業は、優秀な人材を確保するため、賃金アップや働きやすい職場環境作りを率先して進めており、将来を見据えた改革を断行している。JR貨物においては、コロナ収束後も業績が伸び悩み、会社が描いた展望に届いていないことは十分に理解しているが、このような状況下で良い労働条件を示すことは、JR貨物の大きなアピールにもなり、将来展望に期待が持て、離職防止や将来に渡り優秀な人材確保の足掛かりに繋がる。これは、グループ会社においても同様なことが言え、2024問題に対する期待に応えていくためにも、労働条件を大幅に改善しJR貨物グループ全体の士気を向上させ、将来に向け発展に繋げていくことが必要である。

貨物鉄産労は会社の経営を常に考え、JR貨物における政策課題解決に向けJR連合と共に取り組んでおり、今年度だけの業績に特化せず、これまでの会社の業績をみれば私達の主張に答えられる体力は十分にあると認識する。先にも述べたが、組合員の安全安定輸送により、日々、大きなトラブルもなく列車は運行され、会社が策定した「JR貨物グループ長期ビジョン2030」を構築するためには組合員の協力が不可欠であり、組合員の士気を上げるためにも労働条件改善は必須である。

最後に、これまでに全国各地で起きた甚大な自然災害により、多くの方々が被災され復興にはまだまだ時間を要する。被災された方々のためにも、復興に貢献できる安全で信頼される会社を築き上げ、社会的使命を果たしていかなければならない。不正行為の撲滅に向けて犬飼社長は「社会からの信頼を一丸となって取り戻していきましょう」と発信したが、労使との信頼関係を構築しなければ会社は衰退の一途を辿り、会社の状況が厳しい時こそ経営者の手腕が試される。

以上を踏まえ、労使のどちらかが傾けば会社も傾くことを強く認識し、組合員の悲痛な叫びと私達の主張を受け止め、満額回答を強く求める。

会社・輪軸圧入時のデータ改ざん問題に伴う、貨物列車の運行停止等で皆さまにはご心配とご迷惑を掛けており、また、車軸問題に伴う編成減車の中においても最大限の輸送力確保にご尽力頂いていることを感謝申し上げます。本日、趣旨説明を頂いたが、貴組合の主張は受け止め、今後、社内で議論を重ね会社の考えを示していきたい。

組合・経営状況は対計画通りになっており、酷暑の中でも安全安定輸送に努めた結果である。データ改ざんは大変残念であったが、失った信用を取り戻すため、社員は懸命に前を向いて業務についている。会社として、これに応えるべく誠意ある回答をお願いしたい。次回交渉（収入動向）は何日か。

会社・10月29日（火）である。

組合・了解した。

**寒暖差が大きくなりましたが、
体調管理を万全にし、
信頼回復・安全安定輸送に
努めていきましょう**

以 上
